ニュースリリース

上越信用金庫

各　　位

令和３年１月１９日
上越信用金庫
理事長　大堀　芳和

信金中央金庫 創立70周年事業 地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の活用による上越市への寄附について

この度、上越信用金庫は、信金中央金庫（東京都中央区八重洲：理事長　柴田弘之）が創立７０周年記念事業として実施する地域創生推進スキーム「ＳＣＢふるさと応援団」に、上越市が実施する地域創生事業「雪が育んだ１００年産業・製造業基盤強化事業」を推薦いたしました。その結果、信金中央金庫の審査会を経て採択されたことから、信金中央金庫より上越市に企業版ふるさと納税制度等を活用した寄附金１０百万円が寄贈されることとなりました。

上越信用金庫は、引続き上越市が実施する地域創生事業「雪が育んだ１００年産業・製造業基盤強化事業」を応援いたします。

－ＳＣＢふるさと応援団の概要について－

信金中央金庫が７０周年事業の一環として実施する地域創生推進スキームで、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）を踏まえ、信金中央金庫が企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決や持続可能な社会の実現に資する地域創生事業について、地域の信用金庫とともに応援し、地域経済社会の発展に貢献することを目的とした事業です。

寄附対象事業については、公募により募集し、信金中央金庫の審査を経て採択された場合に上限１０百万円が寄附されるものです。

－上越信用金庫が推薦する上越市の地域創生事業「雪が育んだ１００年産業・製造業基盤強化事業」について－

上越市は、２０１９年６月に、経済産業省による「地域中核企業等の成長の促進に係るハンズオン支援」に採択され、国を含む産学官金による「上越市地域中核企業成長促進協議会」を立ち上げ、上越市内企業の成長による、人口流出のダム機能強化や自立性の高い持続可能なまちの形成を目指し、地域の経済をけん引する地域中核企業群の抽出や、その支援施策・体制等について検討を重ね、具体的な取組をはじめています。

このような取組により、人口減少の緩和に向けて、安定的で魅力ある雇用の場を創出することにより、進学等で市外へ転出した若者が市内企業に就職するなど、人口流出のダム機能の強化を図るとともに、人口減少社会においても持続可能なまちの形成に向けて、製造業による域内総生産や付加価値額を高め、稼げる企業の増加を図ることを目指す事業です。

上越信用金庫は、当金庫のネットワークを活かして具体的な各種企業支援の実施段階において、中核企業となりうる企業の情報提供（支援先企業の検討）や市内企業の販路開拓、マッチング等について、上越市と共に連携して事業を推進してまいります。

＜本件についてのお問い合わせ先＞
上越信用金庫　総合企画部　（担当：中條・山本）
〒942-0001　上越市中央１丁目１１番１号
ＴＥＬ　０２５-５４６-７１４５　　ＦＡＸ　０２５－５４３－６１４３